



ORBCOMM が新製品「サテライトアズアクセサリ」発売を発表

デュアルモード接続により輸送ソリューション拡張性、
信頼性及びコスト効率を実現

ニュージャージー州ロシェルパーク、2020年12月8日 - グローバルIoTソリューションプロバイダーであるORBCOMM Inc. (Nasdaq: ORBC)は本日、「サテライトアズアクセサリ」と言う新製品の発売を発表した。この製品は携帯電話網を利用した資産追跡・監視装置にORBCOMMのグローバル双方向衛星通信接続を追加することが出来るオプションで、新規インストール品や既にご利用いただいている製品を含めて、当社の輸送ソリューションのデュアルモード化を実現します。

ORBCOMMの「サテライトアズアクセサリ」製品は、最先端のアンテナと統合された衛星モデムを搭載しており、ネットワークの混雑が激しい地域など、携帯電話網が利用できない場所や信頼性の低い場所でバックアップとして衛星通信接続を提供します。ORBCOMMのこの薄型アクセサリは、3G携帯電話網が停波する影響が懸念されるデバイスに利用することで、衛星接続がデバイスのライフサイクルを延長し、信頼性の高い通信を確保することによって長期的な投資収益率の最大化を図ります。耐環境性を確保している製品は、冷蔵トレーラー、ドライバン、小型・大型商用車、鉄道車両などのモバイル資産に、プラグアンドプレイ接続として簡単に取り付けることができます。電力効率に優れたアクセサリにより、一時的な停電時もメッセージが送信出来、継続的な運用を確保することができます。

この周辺装置を新規または既存のORBCOMM資産追跡・監視装置に接続することで、運輸業のお客様は、通信の信頼性を高め、資産の可視性とセキュリティを向上させるために、フリート管理、トレーラー追跡、コールドチェーン監視ソリューションにデュアルモード接続をコスト効率よく追加することができます。また、このデバイスにはナビゲーションモジュールが内蔵されており、冷蔵・乾式輸送資産の完全な管理を可能にする位置データのグローバルなレポートを可能にします。さらに、衛星通信経路のアップデートにより、現場に技術者を派遣することなく、周辺装置がファームウェアの更新を受けられるようになり、新機能を有効にするための時間とコストを節約することができます。



"ORBCOMM の製品開発担当エグゼクティブ・バイス・プレジデントであるクレイグ・マローンは、次のように述べています。「ORBCOMM は、衛星、セルラー、デュアルモード技術を開発し、強力なマルチモード製品とサービスを生み出す豊富な経験を持っており、これは当社にとって大きな競争力となります。"当社の衛星をアクセサリとして提供することで、交通機関のお客様は、世界中のどこにいても通信の信頼性と長寿命を保證するデュアルモードソリューションを手頃な価格で展開することができます。 来年の今頃には、ほぼすべての製品ラインにこのユニークな機能が搭載され、デュアルモード接続を複数の垂直市場にまたがるより多くの顧客に提供できるようになることを期待しています」と述べています。

詳細については、<https://www2.orbcomm.com/satellite-accessory> をご覧ください。

ORBCOMM について

ORBCOMM (Nasdaq: ORBC) は、産業用 IoT における世界的なリーダー、そしてイノベーターであり、企業と資産を接続して可視性と業務効率の向上を実現するソリューションを提供しています。同社は、シームレスな衛星および携帯電話網接続、独自のハードウェア、強力なアプリケーションを含む、資産監視および制御ソリューションを幅広く提供しており、設置から展開、カスタマーケアまで、すべてエンドツーエンドのカスタマーサポートを支援します。ORBCOMM は、輸送、サプライチェーン、倉庫管理、在庫管理、重機、海運、天然資源、政府機関など、一流の OEM、ソリューション顧客、チャネルパートナーを含む多様な顧客基盤を有しています。詳細については、www.orbcomm.com をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

本プレスリリースに記載されている記述の中には、1995 年私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) の意味における将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、一般的に当社の計画、目的、将来の事象に対する期待に関するものであり、歴史的事実ではない当社の期待、信念、計画、目的、意図、仮定、およびその他の記述が含まれます。当社の期待に関する記述を含むこれらの将来の見通しに関する記述は、既知および未知のリスクや不確実性を内包しており、実際の結果が、将来



の見通しに関する記述によって予想、予測、予想または暗示された結果と大きく異なる可能性があります。また、第1部第1項第1A号「リスク要因」及び第2部第1B号「リスク要因」に記載されている様々な要因を具体的に考慮する必要があります。「リスク要因」及び第II部第7号「経営者による検討及び分析」に記載されている様々な要因を具体的に考慮する必要があります。"財務状況及び経営成績に関する経営陣の検討及び分析"等、証券取引委員会に提出されている当社の年次報告書（フォーム 10-K）及びその他の文書に記載されている様々な要因を考慮する必要があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、いかなる将来の見通しに関する記述や注意事項を公に修正する義務を負うものではありません。

ORBCOMM 連絡先

投資家向け:

Aly Bonilla, VP of Investor Relations
+1 703.433.6360
bonilla.aly@orbcomm.com

貿易メディア向け:

Sue Rutherford, VP of Marketing
+1 613.254.5269
rutherford.sue@orbcomm.com

LATAM メディア向け:

Niamh Killeen
killeen.niamh@orbcomm.com